

東京地方壮年連合通信 vol.72

TOKYO SOUNEN RENGOU TSUUSHI

2016年12月15日

「きっと誰かに何かは出来る」

ルカ19章17節新改訳

幡ヶ谷バプテスト教会 牧師 山川 眞司 (やまかわ しんじ)

私は現在会社で働いていますが、周りの人々に福音を伝えたいと願っています。私の周りにはクリスチャンはいません。周りの人々にはなるべく自分はクリスチャンであり、イエス様が救い主であることを話すようにしています。でもその中で福音を伝えることに閉塞感を覚えることが多々あります。色々な壁にぶつかります。そして気持ちになえてしまうことが少なからずあります。例えば朝の朝礼で聖書の御言葉からお話しさせていただいたりすることがありますが、社員の空気を読みながらこんなこと話して良いのかなあと思いながら話をしますが、反応が芳しくないと感じることもあります。心の中で恥ずかしいと思ったり、こういうことは話さない方が良いという思いの中で葛藤しています。ワールドヴィジョンの創始者のボブ・ピアスという宣教師は「すべての人々に何もかもできなくとも、誰かに何かはできる」と言っています。すごく励まされる言葉です。そうだ私にも出来ることがあるはずだと思いました。大きな伝道集会は出来なくても、自分の今置かれた場所で毎日の生活の中で周りの人々に仕えながら何かはきっと出来るはずです。それで会社の何人かの人々を集めて聖書の学びを始めています。聖書を学んでみませんかと声をかけ、1人集め、別の人を昼食に誘い食べながら、相手の話を聞きながら飢え渴きをもっている人を聖書の学び会に誘っています。今は4名で不定期ですが、就業時間後に会を持っています。又数年前から下北沢でキリストの弟子造りをしたいというクリスチャンの集まりを始めています。この取り組みで具体的に自分の仕えて行くべき人を与えられて、そのためにどのようにして行くかを祈りながら神様に聞いて従って行こうと励ましあっています。4名～5名の参加ですが、それぞれ目標をもって今週誰に仕えて行くかを決め、それぞれ祈り合い神様の恵

みの内にそれぞれ派遣された場所へと送り出されています。私たち幡ヶ谷教会では、「私たちの教会は都度の礼拝でキリストに出会い、キリストを知り、心から喜びながら礼拝をささげるなら、私たちそれぞれがキリストを伝え、キリストの弟子を育成する心が育つことを信じます。そして礼拝によって養われながら、私たちそれぞれの遣わされた場所で隣人に仕え、キリストのネットワークを拓けて行く群れとなる」、というヴィジョンを掲げています。これにならい幡ヶ谷教会員も同じようにそれぞれ置かれた場所で神様の声に従って人に仕え、宣教の業に励みつつあります。私たちに出来ることは少ないかもしれませんが、でも出来ない多くのことに目を留めるのではなく、今自分が置かれている場所で出来ることを見つけ、それをすることが大切だと思うのです。きっと何かが出来ると信じて毎日祈りつつ神様の声を毎日聞きながら神様に従って歩んで行こうと思っています。

「東京地方壮年連合 2016 年度定期総会に参加して」

大井バプテスト教会 上河 忍 (かみかわ しのだ)

当教会の山田誠一兄（東京地方壮年連合会長）から依頼を受け、初参加でしたが議長を勤めさせていただきました。社会人となって以来、殆どを大井教会で信仰生活を送った私は、大井教会以外の教会に伺う機会は多くありませんでした。ところがここ数年、旭川教会、恵泉教会、長住教会、西南学院教会等を訪問する機会に恵まれました。現在、当教会は新会堂建築を祈っていますので、訪れた教会では、まず会堂に目が行きます。そして、直ぐ「この会堂建築費は？」が気になります。この度の総会が行われた常盤台教会も初訪問でしたので、いつもと同様「…？」が気になりました。

さて、本論に入りますが、総会の感想はやはり参加者の年齢層です。50～70 歳代が中心だったと思います。人口減に突入した我が国では「高齢社会＝社会的課題」と捉えがちですが、「高齢者＝人生経験豊富」とも言え、マイナスばかりではありません。但し、国家でも教会でも高齢化の課題はやはり財政問題でしょう。現役世代（生産年齢人口）が少なくなると国家では税収が減り、教会では献金が減ります。

本総会に参加し、当教会だけではなく、東京地方壮年連合のどこの教会も抱えている課題（現役世代減少→財政状況逼迫）が共通していることを改めて感じさせられた次第でした。

東京地方壮年連合主催

「第 21 回壮年研修会」のご案内

主題

「バプテスト教会の発展は？」

牧師、信徒のリーダーシップによる！

発題：松見 俊 西南学院大学神学部教授

バプテスト教会の牧師・信徒について、改めて学ぶきっかけになればと思います。

講演後は、意見交換、質疑応答の時間を十分に取れるようにしています。

日時：2月18日(土) 13:30～16:00

(13:15 受付開始)

場所：大久保バプテスト教会 新宿区新宿 7-26-22

(最寄り駅：地下鉄大江戸線・副都心線「東新宿」A2 出口より、地上へ出たら左へ、次の角を左へ進むと右側)

*女性会、青年会、中高生もぜひご参加ください。大歓迎です。

*参加費無料

(席上献金あります。献金は、仙台長命ヶ丘教会を中心とした復興支援金として献げます。)

研修会等についてのお問い合わせは、下記へご連絡願います。

青柳 博 090-2664-5305 佐藤洋二 090-9834-9464

◇ 2016 年度神学生奨学金献金(目標 500 万円)のお願い◇

日頃の神学生支援に対するご理解に感謝申し上げます。

昨年度、東京地方連合は 500 万円の目標に対し、485 万円の献金が捧げられました。本年度も 500 万円の目標を掲げています。皆様からの祈りとサポートをお願いいたします。

◇ 2016 年度東京地方壮年連合定期総会報告 ◇

2016 年度定期総会は、11 月 23 日に常盤台バプテスト教会で出席 21 教会、委任状 18 教会、代議員 33 名、にて開催され、以下の 4 議案が全て可決、承認されました。

■2015 年度活動報告、会計報告、及び監査報告

■2016 年度活動説明、決算見込報告

■2017 年度活動計画、予算案

①活動主題：「壮年の役割－バプテストの信徒として」

②各種活動の活性化：特にブロック委員の強化を図っていく。

③研修会の実施：年 1 回を予定している。

④神学生奨学金献金推進：目標 500 万円、ブロック委員の主な活動とする。

⑤伝道隊、支援チーム等の派遣：北九州地方連合の地域協働を参考とする。

⑥定期総会の開催：2017 年 11 月 23 日(土) 連合の集い（予定）の前後に予定

■役員改選（2017 年度、2018 年度の役員）

公募により役員希望者を募りましたが、ゼロであったため、役員会からの推薦者の下記の役員が承認されました。

(定員)

(1)会長	1 名	山田誠一／大井
(2)事務局長	1 名	佐藤洋二／栗ヶ沢
(3)書記	1 名	栗本岳尚／市川大野
(4)会計	1 名	堤 秀幸／品川
(5)伝道委員	2 名	無し
(6)広報委員	2 名	青柳 博／大泉（兼務）
(7)神学校献金推進委員	1 名	青柳 博／大泉（兼務）
(監査)	2 名	青木一郎／中野、久場俊男／恵泉

お詫びとお願い

会計・堤が二期担当していた事が判明し広報・青柳と交代したいと思います。

既に総会は終了しておりますが皆様のご理解を頂きたいと思えます。

この件についてご意見のある方は、会長・山田誠一宛にご連絡お願い致します。

sei.shinkiai@gmail.com 誠に申し訳ありません。

役員兼任の意見が今年の総会でも出ましたが、東京壮年連合でご奉仕下さる方を募集していますので宜しくお願いいたします。 東京地方壮年連合役員会

発行人： 東京地方壮年連合会長 山田誠一

編集人： 中村 茂